



認知症の方への対応の心得



認知症の方も一般の人とのつきあいと、基本的には変わりませんが、認知症の方と接するときには、認知症についての正しい理解に基づく対応が大切です。

認知症の方への対応の心得は、認知症の方の他、高齢の方や障がいをお持ちの方を含むすべての方へのやさしい対応につながります。

● 基本姿勢 ●

認知症の人への対応の心得3つの「ない」

1 驚かせない 2 急がせない 3 自尊心を傷つけない

具体的な対応の6つのポイント

1 まずは見守る

認知症が心配される方に出会った時は、急に近づくのではなく、さりげなく様子を見守り、必要に応じて声をかけます。

2 余裕をもって対応する

こちらが急ぐと、焦りや動揺が相手に伝わってしまいます。落ち着いて自然な笑顔で接します。

3 相手の目を見て声をかける

ゆっくり近づき、相手の視野に入ったところで目線を合わせて声をかけます。唐突な声かけ、特に後ろからの声かけは相手を驚かせます。

4 笑顔とやさしい口調で

目線を同じ高さに合わせ、笑顔でやさしい口調を心がけます。

5 おだやかにはっきりとした口調で

耳が聞こえにくい人もいますので、ゆっくり、はっきりと話すよう心がけます。早口や大声、甲高い声は避けましょう。

6 会話は本人のペースに合わせて

一度に複数の質問をしないように気をつけます。短く簡潔に伝え、答えを待ってから次の言葉を発しましょう。結論を急がずゆっくり聞き、相手の言葉を使って確認するようにします。

心配なことがある場合は相談を

認知症のことで御相談がある場合は、お近くの地域包括支援センターに御相談ください。

各住所地を担当する小樽市地域包括支援センターを検索



「認知症の方への対応の心得」は、全国キャラバン・メイト連絡協議会発行 認知症サポーターキャラバンメイト養成テキスト、認知症サポーター養成講座教材「認知症を学びみんなで考える」を基に作成しました。さらに、小樽市認知症初期集中支援チーム検討委員会で内容を検討し、小樽市内の認知症当事者・家族の方から寄せられた御意見も踏まえて取りまとめたものです。